



# ひまわり通信

No.00709. 2025.3.20(木)

健康寿命から貢献寿命へ

## 国際ブランド「美穂化粧品」 (田中美穂の「生きる法則」 鶴蒔靖夫 著)

### ●健康な肌を育てて「健康美人」になろう！！

健康補助食品ではないが、日健グループのMA化粧品事業部が展開する自然派化粧品開発も、国際マーケットで見事に流通している。女性にとって必需品の需要は絶えることがない。美しさへの願いは、女性の永遠のテーマである。縄文時代の遺跡や古墳からも、女性の腕飾りや耳飾りが出土している。縄文時代の化粧品は、樹液や土壌からつくり出し、赤色が好まれたようだ。福島県いわき市で発掘された埴輪の顔には、目から頬にかけて赤い彩色がみられる。奈良時代に入ると中国との交流が盛んになり、化粧品も化粧法も中国流が盛んだった。ただし顔を白く塗る白粉は『倭名類聚鈔』によると、鉛粉と水銀粉を混合したものが多かった。重金属を使うのだから肌を傷つけ、顔のあちこちにブツブツができ、平安時代の女性はそれを隠すために、ますます厚化粧になった。

紅花などの草木からとる化粧品よりは、人工の”科学化粧品”のほうが色が鮮やかでおちにくかったから愛用されたらしいが、これは危険な化粧法だった。状況は西欧でも似たりよったりだった。とすると、小野小町もクレオパトラも、化粧を洗い落とすと、あばただらけの醜女だったかもしれない。

### ●美穂化粧品の誕生

四半世紀もの微細藻類の研究から開発されたのが、日健グループのMA化粧品です。MAは、生命エネルギーそのものです。生命自体を活性化するわけですから、健康にももちろんいいのです。生命エネルギーにいいものが、肌に悪いわけがありません。健康な人は生命力にあふれているから当然、それは肌の艶に現われてきます。肌がつやつやと新鮮なことは、健康そのものの証拠です。

MA化粧品は、化粧美人をつくる目的で作られていません。健康な肌を育てて、みなさんが健康美人になってほしいのです。美人というのは、美しい心と健康な肉体があっはじめて生まれるものだと思います。日健のMA化粧品は、その思想があっ普及されており。肌そのものに活性力をつける。しかも素材は微細藻類を基本としています。微細藻類の生命力を存分に応用しているから、これこそ真の自然派化粧品だと自慢してもよいとおもいます。

常にうるわしく、新しく。ピュア（純粋）とナチュラル（自然）を追求するところから、MA化粧品が誕生する。クロレラ多糖体と天然の薬草やハーブなどの天然成分を配合し、どんな肌にもなじむ独自のCMB処方（クロレラ・モイスチャー・バランス処方）で、人間が持つ健やかな生命力を引き出し、純粋な肌の輝きを取り戻し活性化。あくまでも肌にやさしく、自然であること。

これがMA化粧品の発想だ。日健グループの他の商品群と、その思想＝健康と変わりはない。だからMA化粧品は誕生の瞬間から、国際ブランドだった。化粧品の種類もメーカーも無数にあるが、健康を根底にした化粧品は国際市場でも珍しい。というより、他の化粧品よりも女性へのアピール度が強い。美しく装うよりも、「美しく健やかに」がテーマだからだ。

イスラエルの赤い宝石「ドナリエラ」愛の一粒運動実施中！！

（株）日健総本社 兵庫特約店

（有）クロスタニンひまわり

☎ 0120-42-8198